市長の調停で 爭議解決か

8、8 中外

兩者主張接近す

櫻井市長爭議團幹部と會見す

三菱爭議團は昨朝高等部が六日櫻井市長と會見してから問題の中心市役所に移つて七日朝から木村社會課長は各方面に飛び氷田、土岐兩助役は詰切つて

凝議し 此間市長は再三自動車の往復を重ね時々刻々緊張の度を加へてゐたが秘密にしてる行先は今井嘉幸博士鈴木友愛會長や知事、武田三菱會長、孫田協調會理事等で知事、市長は會見數度

協議を 重ねたる結果（第一）職工以外の友愛會員は成るべく代表者となる事を斟慮せしめ其他は總て正式の組織工團體代表者を認めこれを相手として談ずる事（第二）從來の行掛りを捨て三菱爭議團に金部一隊を認め知事市長共同にて調停のをこ取る事

市長は 兩助役を市役所に引上げしめ一方木村課長を三菱爭議團本部に派し前日會見したる代表者を午後七時市長室に招致し兩者の間に各種の問答あり更に別き八日午後二時正式に回答をなすべしとて十時引取つたり而して調停案の內容 茲に記するの自由を

職工側 の意見及び希望と市長案とは多少の差ありと雖も結局爭議團は「不本意なれども知事及び市長を信頼しお扱ひに委すべし」と云ふに決すべく果して然らば茲に知事市長は相携へていよいよ出馬する事となりさしも久しかりし三菱の大爭議も一先づ圓滿解決に至るべかと觀測さる

軟派職工の復職運動 硬派の妨害で散會す

川崎造船所兵庫工場の工位長連代表者四十餘名は七日午後兵庫正監町の青年會事務所に會社職工課長其他と秘密會合を遂げ分工場職工が之を察知して妨害を加へたので會合約四十分にして散會した

賀川氏釋放の嘆願 新川附近住民が

百名同所に集合し更に角會社側と春ありと觸れ込み會社側の諒解を求め同夜更に飛來中の反派職工數の或る默契に基き復來するに協議を纏めつゝあつた折柄所謂硬派職工が之を察知して妨害を加へたので會合約四十分にして散會した（神戸電話）

部落民 一同は賀川氏收監後は其指導者を失ひ日夜焦心しつゝありしが愈々今六日藤本氏の同情の下に各種の便宜を得つゝありし神戸市新川及び其の附近の

裁判所 が之を受理せざる時は宮內省に向つて陳情長訴すべしと因に神戸地方裁判所は此嘆願書を受理せざる方針と（神戸電話）

要治外八十二名の代表者を選出して神戸地方裁判所に賀川氏の減刑或は即刻釋放の嘆願書を提出する筈なるが若し

工全部の役職運動を試みんとする春ありと觸れ込み會社側の諒解を求め同夜更に飛來中の反派職工數を纏めつゝあつた折柄所謂硬派職工

8、7 中外

職工三萬の葬列

一里の道を人で埋めた巡査に斬られて死んだ職工葬儀

神戸電話＝今回の勞働爭議で警察官の爲に重傷を負ひ遂に大國病院內で死亡した川崎造船所職工常峰俊一の

葬儀は 豫定の如く六日午後二時半團葬として執行された川崎、三菱兩造船所では當日は弔慰を表して爭議問題は一切留保して職工全部を會葬せしめた、斯く葬列は午後三時から友愛會員を始め各地から總々葬列の爲め來神した各勞働團代表者二百五十餘名を合せ無慮三萬餘人の職工が「死出の常峰俊一君の後を送る」と記した

弔旗を 先頭に數百の會旗を押立て悲壯な勞働歌を高唱しつゝ水木通八丁目の常峰氏宅を出で工業學校前から塚本通を一直線に友愛會聯合會の前に出で長澤小學校前から本町筋を通り勞働爭議本部前を經て神戸驛前通を電車線路に沿ひ濱道、加納町一町目から宮川町の墓地に着いた、此道筋は約二里以上もあるに拘らず

沿道は 死と人を以て埋め尽し市民は御祭り同樣の騷ぎをして此葬列を送つた、當日は當局も幾分遠慮して途中行列にも餘りに干渉しなかつたのと職工側は極度に緊張して居つたので種々の風說が傳へられたけれども何等不穩の模樣もなく六時無事に式を終つた

市長起否

猶ほ不明

罷業團と會見

神戸電話＝三菱罷工團は櫻井市長に爭議調停方に關して會見を申込んだ結果市長は六日市役所で罷工團代表者八名に友愛會の山崎一天氏を加へて會見し職工側の陳情を總取し職工側は同三時退出した、同市長が愈々調停に乘出すや否やは不明で前記代表者に對しても明答を與へず考慮すべき旨を告げたのみであるが罷工團の市長に手交したる所謂調停條件なるものは茲に會社に提出した要求條件に比すれは非常に讓歩したもので前日行吉知事が發表した軟化職工が依賴せる調停條件と大差なく只工場委員會の設置は採作業場から實施すべき事を要求してゐる

小山檢事 急行す

徹底的大檢擧

神戸の爭議に關し何くも法律に違反したものは徹底的に檢擧處分するこ云ふ司法當局の態度は既報の如くであるがそれあらぬか大審院の小山檢事は六日平沼檢事總長の命を受けて急遽神戸へ出張した